2018年2月　1日　　No.120　　発行責任者　田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第１２０号

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031　東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

希望者は全員正規に

登用試験最終合格者３、４５２人

郵政グループ各社からの情報提供によると、時給制契約社員、月給制契約社員、短時間社員から一般職への登用に係わる最終合格者は、

日本郵政
二次審査受験者数
２３人中９人

日本郵便・郵便コース
二次審査受験者数
５、６９１人中２、５７５人

日本郵便・窓口コース
二次審査受験者数
１、３３３人中７０４人

ゆうちょ銀行
二次審査受験者数
１５７人中１２１人

かんぽ生命保険
二次審査受験者数
９２人中４３人

計７、２９６人中３、４５２人です。

登用審査に受験した人は第一次を含めると１８、１７７人ですから１４、７２５人が不合格、合格した人は２割にもなりません。８割以上の人が不合格というのは異常な狭き門です。これには怒りを覚えます。会社は期間雇用社員の募集要項で、正社員への登用制度ありと言っているのですから、希望する人は登用していくべきです。

２０１０年３月の国会で亀井担当大臣は「非正規社員から正社員を希望する人は正社員にしていく」と答弁し、一定の登用がされてきました。それが現在、正社員化が縮小されてきています。

私達は、安定的な労働力を確保し、お客様に充分なサービスを提供するためにも、希望する人全員を正社員にするよう強く求めます。

今国会は私たちにとって正念場

労働法制改悪、憲法９条改悪を食い止めよう

１月22日から始まった国会は私たちにとっては正念場です。安倍暴走政治によって私たちの暮らしは破壊されてきましたが、今国会は残業代ゼロ法案をはじめとした労働法制の改悪、憲法9条を改悪するために国会発議を行おうとしています。労働法制の改悪、憲法9条の改悪を食い止め私たちの命と暮らしを守っていきましょう。

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか